

健康福祉部健幸まちづくり推進室

老年医学の権威が認知症の予防と治療の最前線を語ります！**けんこう
健幸まちづくりシンポジウムオンライン****「知って備える認知症の最前線とアフターコロナの健幸都市」を開催！****1 趣旨**

65歳健康寿命が都内トップクラスの多摩市では、今後20年で75歳以上の人口が約2万人から3万人へと1.5倍になると推計されています。年齢を重ねても誰もが元気に過ごし、健康と幸せを実感できる「健幸都市」を目指して、多摩市では行政、市民、NPO、団体、事業者、大学などが主体的に、また、連携・協働して健幸まちづくりを進めています。

今回開催するシンポジウムでは、年を重ねると誰もが避けて通れない認知症に備えて、個人ができることを知り、行動することの意義、また、「健幸都市」を掲げるまちとして目指すことを探ります。

第一部では、東京都健康長寿医療センター理事長の鳥羽先生より、最新の研究結果を交えて、認知症の予防と治療の最前線について講演いただき、認知症への備えについて学びます。また、超高齢社会に挑戦する他自治体の取組なども紹介いただき、健幸都市へのヒントをいただきます。

第二部では、多摩市の健幸なまちづくりに関わりの深い参加者から、様々な世代が交流する、認知症になっても自分らしく暮らすことができる多摩市のリアルなまちづくりの現場を紹介いただき、アフターコロナの健幸都市の魅力についてパネルディスカッションで掘り下げます。

2 概要

(1)開催日時 令和3年9月25日(土)午後2時～4時

(2)内 容

【開会挨拶】 多摩市長 阿部 裕行

【多摩市の健幸まちづくり】 健幸まちづくり政策監 正野 直子

【第一部：基調講演】

テーマ：知って備える認知症予防と治療の最前線、これからのまちに求められるもの

講師：東京都健康長寿医療センター理事長 鳥羽 研二

【第二部：パネルディスカッション】

テーマ：アフターコロナの健幸都市～地域共生コミュニティとは～

コーディネーター：東京都立大学教授 饗庭 伸

パネリスト：明石 のぞみ（社会医療法人河北医療財団多摩事業部 事業部長）

荒井 永理（デイサービス聖ヶ丘施設長/子ども食堂「ほくの家」代表）

寺田 佳織（HITOTOWA Inc. シニアディレクター）

野村 和伸（京王電鉄株式会社 沿線価値創造部長）

【閉会挨拶】 環境未来フォーラム代表理事 前田 武志

(3)実施方法 オンライン(Zoom)によるライブ配信。視聴にはPeatixによる事前申込みが必要。

申込先 URL <https://peatix.com/event/2532955/view>



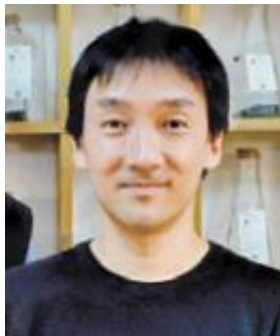
<参考>

基調講演者略歴：東京都健康長寿医療センター理事長 鳥羽 研二 氏



1951年 長野県松本市生まれ
1978年 東京大学 医学部 卒業
1996年 東京大学 医学部 助教授
2000年 杏林大学 医学部高齢医学 主任教授
2010年 国立長寿医療センター 病院長
2015年 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長
2019年 東京都長寿医療研究センター 理事長
専門分野：老年医学

コーディネーター略歴：東京都立大学教授 饗庭 伸 氏



1971年 兵庫県西宮市生まれ
1994年 早稲田大学理工学部建築学科卒業
2003年 早稲田大学より博士（工学）授与
2007年 首都大学東京都市環境学部 准教授
2017年 同 教授（2020年都立大学に改名）
多摩市では、豊ヶ丘複合施設周辺のまちづくりに関わる

問い合わせ

健康福祉部健康まちづくり推進室

電話：042（338）6916